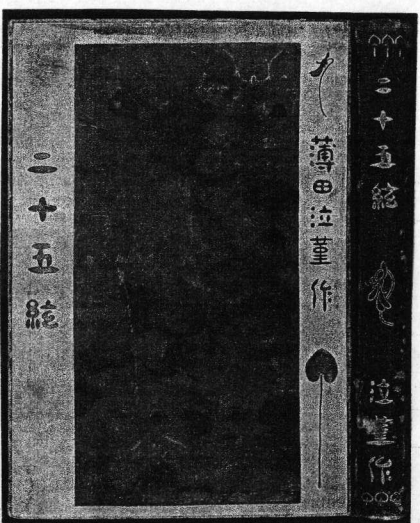


薄田沱董 ウツノタカ 詩人、隨筆家。明治十年五月十九日岡山縣生れ、昭和十年十月九日歿（八七—一九四五）。本名淳介。筆名じゆん、おんがらじ、抱琴坊沱董、杏堂、淳介、無憂樹、董、おんがらじ、薄田注等。明治二十六年岡山縣尋常中學校中退。翌年上京、二十年五月雜誌『新著月刊』の詩篇發表。二十二年『小天地』編輯名義人、四十四年帝國新聞社文藝部長、翌年大阪毎日新聞社に轉じ、八年學藝部長と病を獲、十二年退社。『薄田沱董全集』全八卷（昭和十二年—十四年創元社）刊。

著書『二十五卷』（明治二十八年五月十二日春陽堂）、『暮草集』（二版・明治二十九年五月一日金尾文淵堂）、『おんがらじの會詩集第一』（合著、明治二十九年八月一日如山堂書店）、『明治詩集（附録・新體詩年表）』（合著、七訂野城編、明治四十一年一月二十七日昭文堂）、『落葉』（明治四十一年一月二十日獅子吼書房）、『名家書翰集』（薄田鶴一共編、明治四十一年十一月十五日獅子吼書房）、『新書翰』（同共著、明治四十一年五月十日法華館）、『沱董小語』（明治四十一年五月二十日隆文館『小語叢書』）、『象牙の塔』（大正二年八月十五日春陽堂『現代文藝叢書』）、『新茶話』（大正八年六月二十五日三友社）、『隨筆茶話』全二冊（上卷・大正十二年二月二十日、下卷・八月十八日）



大阪毎日新聞社、『沱董詩集』（大正十四年一月二十日、大阪毎日東京毎日新聞社）

新聞社)、『大正十五年五月八日大阪毎日新聞社』、『東京毎日新聞社』、『大

陽は草の香がする』(大正十五年九月)、『千日夕元』。再刊。昭和七年

八月十五日春陽堂『春陽堂文庫』、『江董詩抄』(昭和二年五月五

日岩波書店『岩波文庫』)、『茶話抄』(昭和二年十一月二日大阪・

創元社)、『岫木蕨齋』(昭和四年一月一日大阪・創元社)、『大地

讃頌』(昭和四年六月十五日創元社)、『現代詩人全集・第一卷』(島

崎藤村集
井阪聖集
田辺重集)、『昭和五年一月十五日新潮社』、『明治詩歌選』(合著、

昭和八年六月十五日新潮社『新潮文庫』)、『茶話全集』全二冊(普

及版)上卷、下卷。昭和八年八月二十日創元社)、『獨樂園』(昭和

九年四月十日創元社)、『現代詩人全集・4』薄田江董集』(昭和十

年八月七日新潮社『新潮文庫』)、『新版茶話全集』全二冊(上卷・昭

和十七年七月)、『千五日』下卷・四月)、『千日大阪』創元社)、『人々』(鳥

盡』(昭和十八年四月)、『千五百櫻井書店』、『對下石上』(昭和十八

年十一月二十日大阪・創元社)、『茶話抄』(昭和二十四年二月十五

日創元社『百花文庫』)、『白羊宮』(日夏歌之分類、昭和二十五年

四月十日耐燈社『詩人全書』)、『茶話』(昭和二十六年十一月十五

日創元社『創元文庫』)、『薄田江董詩集』(日夏歌之分類、昭和三十

九年)二月五日新潮社『新潮文庫』)、『日本詩人全集・3』(上井晚

翠・薄田江董
明・三木露風)、『矢野峰人論』(昭和四十二年五月)、『千日新潮社』等。

文獻、松村録著『薄田江董』(昭和二十二年九月十五日角川書店)。

同『薄田江董考』(昭和五十二年九月二十日教育出版センター)『研究

選書』等。